

インターネットやSNS、動画サイトなどで「自分にぴったり」と感じる広告やおすすめ商品が表示されることがありませんか？

これは、「アルゴリズム」という仕組みによるものです。アルゴリズムは便利な仕組みである一方、消費生活トラブルにつながる場合もあります。

5月の消費者月間に合わせ、おすすめ広告に関する注意点をお伝えします。

アルゴリズムとは

閲覧履歴や検索履歴をもとに、利用者に合いそうな情報を選んで自動的に表示する仕組み

トラブル事例

1. 広告に「残りわずか」「あなただけ限定」と表示され、焦って注文してしまった。
→多くの人に同じ表示をしている場合があります。購入を急がせる広告には注意しましょう。
2. 同じ広告が何度も出るので人気商品だと思い、購入してしまった。
→アルゴリズムが「興味がある」と判断すると同じ広告が表示されますが、人気商品とは限りません。
3. 投資広告に有名人の写真が表示されたので信用できると思い、契約してしまった。
→有名人の写真があっても本物とは限りません。

トラブルを防ぐポイント

契約前に一度立ち止まって情報を確認する！

- すぐに申し込まず、別のサイトや店舗と比較するなど複数の情報を確認する。
- 「限定」「今だけ」をうのみにしない。
- 契約する前に口コミなどの評判を見る。
- 契約する前に事業者の住所、連絡先、責任者氏名、利用規約などを確認する。

迷ったら一人で判断しない！

- 迷ったら家族や周囲の人に相談する。

消費生活トラブルで困った時は一人で悩まず、早めに消費生活センターに相談しましょう。



市消費生活センター
マスコットキャラクター
こだぬきぼんこ